

三重県議会にて一般質問いたしました《令和7年6月12日》

右のQRコードから 令和7年定例会 (令和7年6月12日) 動画をご覧いただけます



能登半島地震の被災地支援活動について

Q〔質問〕

三重県として、能登半島地震における支援活動で得られた気づきに 基づく対策をどのように進めていくのかお聞かせください。

A[答 弁]

南海トラフ地震対策を強化し迅速かつ的確に推進することを目的に 設置した「三重県南海トラフ地震対策強化推進本部」において、能登半島 地震における支援活動による気づきをふまえ作成した「南海トラフ地震 対策の強化に向けた取組方針」の進捗状況を定期的にしっかり確認しな がら総力をあげて取組を進めてまいります。

Q〔質問〕

予想される南海トラフ地震への備えとして、今後、高齢化等が進むことで 増加が考えられる災害関連死への対策についてお聞かせください。

A [答 弁]

能登半島地震でも課題となった災害関連死を防ぐためには、避難所が 良好な環境として整っていることが重要であると考えています。国からは、 避難所の良好な環境の目安として、一人当たりの居住スペースの確保など 「スフィア基準」に基づく対応を要請されており、県と市町がしっかりと 連携して取り組んでまいります。

Q [質 問]

災害時の避難場所として利用が想定される学校体育館の空調整備の 状況を教えてください。

A[答射]

県立高校の体育館に関しては、令和7年度は3件の工事を予定している ほか、翌年度の工事に向けて5件の設計を進めています。できる限り多くの 学校に体育館の空調を設置できるよう、様々な方法を検討しています。

防災・減災のための道路や橋梁の補強事業について

Q〔質問〕

「地域の守り手」である建設業界の安定経営の観点を含め、各建設事務所への配分など公共事業予算全体の考え方についてお聞かせください。

A[答 弁]

各建設事務所への予算配分は、各地域の経済への波及効果や国土強靱化の進捗、大規模事業の実施状況などをふまえて実施しています。公共事業予算については、県全体の予算額を確保していくことが重要です。国土強靱化実施中期計画に基づく新たな5か年の目標を設定し、必要かつ十分な予算の確保に努めてまいります。

トランプ関税について

Q「質問

アメリカ合衆国トランプ大統領による相互関税の適用により、多くの 企業が危機に直面しております。三重県として、どのように対策をして いくのかについてお考えをお聞かせください。

A [答 弁]

本県は製造業が盛んであり関税措置の影響を受けやすい事業者が 多いため、速やかな対策が必要です。そのため、相談窓口の設置や聴取り 調査を行っています。「資金繰りが厳しい」等のご意見を受け、中小企業 融資制度の補正予算を提出しました。今後も、時機を逸することなく 必要な政策を講じていきます。

Q [質 問]

相互関税政策により対米以外の国外への輸出を検討している企業に対して、県としてどのように支援していくのかについてお考えをお聞かせください。

A [答 弁]

県としましては、事業者それぞれの海外展開ニーズに応じた支援を行う 必要があると考えています。事業者のニーズが高いアセアン地域を中心に 海外展開を支援するなど、今後の動向によってはジェトロ等の関係機関と 連携し、事業者の声に寄り添いながら、ニーズに応じた海外展開の 後押しを推進します。

中小企業・小規模企業への支援策について

Q [質 問]

今後、中小企業・小規模企業への支援策として、 どのような施策を行っていく予定でしょうか。

A[答 弁]

県では、中小企業等の持続的発展のための事業 計画の策定支援や資金繰り支援に取り組んできました。 また、専門人材とのマッチング事業など様々な支援 事業を行っています。今年度は、県のHPにおいて 新たに補助事業の一覧等をわかりやすく掲載するなど、 支援事業の更なる活用に向けて取り組みます。



Q〔質 問〕

設備投資や事業規模の拡充など成長を目指す中小企業・小規模事業に対する支援についてはどのような支援を行っていく予定でしょうか。

A〔答 弁〕

地域経済が成長するためには、前向きな取組にチャレンジする企業への 支援が重要だと考えています。成長分野への進出をめざす企業に対し、 新技術開発や試作への補助、設備投資支援などを行っています。今後とも、 金融機関や商工団体等の関係機関と連携を密にしながら、オール三重で 支援していきます。

部活動の地域連携や移行、 地域のスポーツ文化芸術創造について

Q〔質 問〕

部活動の移行実施に伴う問題について、どのような課題に対して、 どのように取り組んでいくお考えですか。また、部活動移行後、教師の やりがいの低下や教師の魅力低下が懸念されるが、どのような取組を 進めるのか。

A[答 弁]

地域移行を進めるにあたっては、指導者や受入団体の確保、さらには 財源の確保など、さまざまな課題があります。そこで、指導者と受入団体を つなげる人材バンクの設置や、地域移行を進める市町への補助金交付を 行っています。また、移行後も引き続き指導を希望する教員向けには、 兼職・兼業の制度を整備しています。

四日市市

垂坂地区災害復旧工事が 完成しました

大量の降水により垂坂地区において一部土砂崩れが 発生している箇所がありました。事業を予算化することで、 法面を補修して復旧工事を進めておりましたが、この たび工事が完了しました。今後とも自然災害に対する 復旧に全力を尽くします。







四日市西 高等学校

テニスコート改修工事が 完成しました

施設の老朽化が見られました四日市西高等学校の テニスコート及びトイレの改修工事を完了しました。 また、今年度、四日市西高等学校では、雨水・配水

処理、グランド整 備費用として予算 化できました。今 後はさらなる整備 計画に着手してま いります。





ドリームオーシャン スタジアム

ドリームオーシャンスタジアムに 冷風機を設置しました

夏の甲子園大会地区予選や少年野球大会などに 使われる三重県のメイン球場であるドリームオーシャン スタジアム(三重県営松阪野球場)に冷風機を設置

することができま した。多くの球児 の熱中症対策に 活用していただく ことを期待してお







2025年3月23日(日)



2025年4月21日(月)



■第一回豊かな三重の 2025年5月29日(木)



2025年7月26日(土)



2025年8月4日(月)



2025年3月25日(火)



2025年5月8日(木)



2025年6月3日(火)



2025年7月29日(火)



20朝明川自然公園化 2025年8月4日(月)



2025年3月26日(水)



2025年5月10日(土)



2025年6月8日(日)



2025年8月1日(金)



2025年8月4日(月)



2025年4月6日(日)



2025年5月16日(金)



2025年6月29日(日)



2025年8月2日(土)



2025年8月5日(火)



2025年4月14日(月)



四日市ばんこ陶器祭 2025年5月18日(日)



①全国高校野球選手権 2025年7月4日(金)



2025年8月3日(日)



2025年8月3日(日)

2025年4月20日(日)

2025年5月28日(水)

13令和7年度鈴鹿四日市道路

2025年7月10日(木)



②災害時トイレシステムを考える 2025年8月6日(水)



動三重県環境整備事業協同組合 2025年8月6日(水)

2021

- 常任委員会
- 防災県土整備企業常任委員会 委員長
- 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
- 広聴広報会議 委員

2022

- 常任委員会
- ■環境生活農林水産常任委員会 副委員長
- ●特別委員会
- 広聴広報会議 委員

三重県議会での経歴

- 常任委員会 ■ 環境生活農林水産常任委員会 委員長
- ●四日市港管理組合議会 議員

- 監查委員
- 常任委員会総務地域連携交通委員会

2025

- 常任委員会
- 防災県土整備企業常任委員会
- ●特別委員会
- 豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会 委員長



防災みえ。jp (https://www.bosaimie.jp/) にて災害状況がご覧になれます。

発行/山崎ひろし事務所 TEL·FAX 059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしてます!



